

Société
Franco-Japonaise
de Philosophie

日仏哲学会

会報79号 2016年7月27日

☆ 2016年秋季研究大会のプログラムが下記のとおり決定いたしました。

(プログラムはHPにも掲載いたします。)

日時：2016年9月10日(土) 9時30分-18時30分

会場：学習院大学 目白キャンパス 南3号館 (詳しくは本会報末尾のマップを参照)

懇親会

時間：18時45分-20時45分

場所：フィオレンティーナ ホテルメッツ目白店 03-5985-0014

会費：5000円(非常勤・学生3000円)

タイムスケジュール

- | | | |
|-----------|---------------|---------------------------|
| 1. 一般研究発表 | 9時30分-12時20分 | 103, 104, 202, 301, 401教室 |
| 2. 昼食 | 12時20分-13時30分 | |
| 理事会 | 12時20分-13時30分 | 203教室 |
| 3. 総会 | 13時30分-14時15分 | 201教室 |
| 4. 特別講演 | 14時15分-15時15分 | 201教室 |
| 5. シンポジウム | 15時30分-18時30分 | 201教室 |
| 6. 懇親会 | 18時45分-20時45分 | フィオレンティーナ ホテルメッツ目白店 |

特別講演

時間：14時15分-15時15分

会場：201教室

司会：香川知晶(山梨大学)

題目：「精神指導の規則」と普遍学

講演者：フレデリック・ド・ビュゾン(ストラスブール大学教授)

共催：日仏哲学会、日本ライブニッツ協会

シンポジウム

時間：15時30分-18時30分

会場：201教室

テーマ：モンテーニュの思想

司会：塩川徹也

提題者：津崎良典(筑波大学)「モンテーニュの唯名論的思索の一断面」(仮)

大西克智(熊本大学)「再論：「自然という坂を遡る」(Les Essais, III, 9)―直覚・思考・現実―」(仮)

志々見剛(日本大学)「真実、信じられること、可能なこと―16世紀の歴史論とモンテーニュ」(仮)

	①9時30分-10時10分	②10時10分-10時50分
A会場：103教室 司会：越門勝彦	長門裕介 物語論と人生全体満足説 ——リ クールの自己の解釈学からの視点	川崎惣一 リクール倫理学はグローバルな正 義について何を言うことができる か
B会場：104教室 司会：小手川正二郎	根木昭英 二つの「自己原因」——J.-P. サル トルにおける神の問題	犬飼智仁 『全体性と無限』における社会性 について——意味作用の時間性との 関連から——
C会場：202教室 司会：藤田尚志	笠木丈 ガブリエル・タルドにおける信念と 欲望	岡嶋隆佑 イマージュについて：『物質と記憶』 第一章は何をしているのか
D会場：301教室 司会：谷川多佳子	田村歩 デカルトにおける〈欺かれる私〉に ついて——欺かれるという事態か らは何が帰結するのか——	佐藤真人 良識ある人間が自然に行う単純な 推論が書物より真理に近いのはな ぜか——デカルトにおける真理認 識の自然性についての一考察
E会場：401教室 司会：小林卓也	木元竜太 『アンチ・オイディプス』における 「コード」と「負債」の意義	小林徹 原イメージと反イメージ——メル ロ＝ポンティとドゥルーズ

	③11時00分-11時40分	④11時40分-12時20分
A会場：103教室 司会：清水高志	縣由衣子 La notion de « paysage » chez Michel Serres	佐々木雄大 聖／俗の区別／両義性
B会場：104教室 司会：藤本一勇	大江倫子 後期デリダにおけるハイデガーの 遺産相続(1) ——「ハイデガーの耳」 と責任、贈与	小川歩人 同じものとしての生命——デリダ 『弔鐘』読解を中心として
C会場：202教室 司会：坂本尚志	清水雄大 Le cercle archéologique dans L'archéologie de savoir de Michel Foucault	宮代康丈 アロンによるフーコー批判——規 範と認識の観点から
D会場：301教室 司会：近藤和敬	笠松和也 スピノザのデカルト『情念論』批判 ——『エチカ』第5部序言の分析を 中心に——	得能想平 初期ドゥルーズにおける情念と自 己知について
E会場：401教室 司会：信友建志	本間義啓 独話の対話構造における三人称の 機能について——幻聴における主 体の自己構成の問題	桑原旅人 大他者の欠如と対象a——ジャッ ク・ラカンによる『ハムレット』註 釈の理論的意義——

☆ イベントのご案内

大会の前日に、日仏哲学会提案型ワークショップを開催いたします。

総題：「ベルクソンの二元論を再考する」

日時：2016年9月9日（金）15時30分-19時00分

会場：学習院大学 目白キャンパス 南3号館 104教室

司会：杉山直樹（学習院大学）

発表：持地秀紀（上智大学）、山内翔太（京都大学）、米田翼（大阪大学）

★ 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。会費は春季大会会場で直接お支払いいただけます。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。(事務局よりお配りした振込用紙をお持ちの方はそちらをご利用ください。) 会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。(なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。)

★ 「会報」の電子媒体での送付についてのごお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様に「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている方で、メール添付で受け取ることで構わないという方がおられれば、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号:00120-6-194046 / 加入者名 :日仏哲学会

アクセスマップ



- ・ 学習院大学まで
 JR山手線 目白駅
 副都心線 雑司ヶ谷駅
 都電荒川線 鬼子母神前電停
- ・ 会場「南三号館」まで
 目白通り沿いの「正門」からが便利です。